

# 支部だより

## 御挨拶



九州歯科大学同窓会  
大阪府支部  
支部長 鳥羽英紀

松本泰雄先生より、支部長をお引き受けしまして早くも三期目を迎える事に成りました。大阪府支部が大過なく今日を迎えられますのも、支部会員の諸先生方ならびに役員の方々の諸先生方、献身的な御協力のおかげであります。

又この度、広報理事豊田先生の御尽力に依り、第1回目の大阪府支部会報を発刊する運びと成りました。今後先生方の御意見、御希望等が御座居ましたらお寄せ頂き記載させて頂きます。今年、阪神大震災と云う未

曾有の被害を体験しました。互いの無事を確かめ合い、現況を連絡し合う最中、大阪府支部の先生方はもとより全国の九州歯科大学同窓会の先生方から沢山の義援金ならびに励ましの御言葉を賜り、同窓の強い絆を痛感致しました。誠に有難う御座居りました。

内に於きましては、大阪府歯科医師会の会長の交替、即ち体制の変動であります。我々大阪府執行部は、この新体制に沿った万全の対策をとり推進してまいる所存であります。

平成 7 年 8 月 31日  
第 1 号

発行人  
九州歯科大学同窓会  
大阪府支部  
鳥羽英紀  
大阪市大正区平尾5-18-13  
TEL 06(6551) 0565  
FAX 06(6553) 4100

次に、同窓会本部会費の値上げの件であります。従来より同窓会本部総会や評議委員会にて大阪府支部は反対の立場を唱えてまいりました。と申しますのも、値上げの理由はある程度理解出来るものの、本部の運営等の改善努力がまだまだ不十分なこと、大阪府支部としても、今後の支部活動の維持のために少しでも会費の値上げをせざるを得ないこと、さらに、大阪府歯科医師会会費の値上げも決定されたことなどがあつたからです。最後まで反対しましたが、多数決をもって値上げが成立しました。従わなければなりません。同時値上げと云う重荷を背負うことになり、出費の重む折、大変恐縮ですが御理解を頂き御協力を賜りたく存じます。今後先生方の御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

### 花 三 春

この度、大阪府支部だよりを発刊する事となりました。広報活動の重要性が益々高まる中、支部だよりの果たさなければならぬ役割は、きわめて重大であります。支部会員の先生方の御指導御協力の程、よろしくお願い致します。

5月21日に開催された定時総会に於きまして、全会一致で鳥羽支部長が再選され、平成7・8年度の新役員も決定しました。又、同窓会本部会費・支部会費も値上げする事となりました。先生方の御理解御協力を重ねてお願いする次第です。

又、今年は、阪神大震災の影響により8月の近畿北陸地区連合会総会は開催中止となりました。不景気に加え、天災・人災と暗い話題が続きますが、九歯大の団結力でこの難局を乗り切つて行くようではありませんか！



# 近畿北陸地区連合会 学術講演会開催

平成6年11月20日(日)午後2時より、ホテル・クライトン江坂にて、近畿北陸地区連合会学術講演会を開催しました。出席者は48名で、大阪府支部からは26名の先生方が出席されました。当日は、宮尾先生の司会にて、まず第1部の講演会を行いました。テーマは「炭酸ガスレーザーの一般臨床への応用とその効果」

で、講師は石田哲也先生でした。先生は、福岡歯科大学を卒業され、現在は太子町にて開業され、レーザーを臨床に 응용、大きな成果を上げられています。講演では、炭酸ガスレーザーの基礎、取り扱い法、臨床例についてわかりやすく説明して頂きました。講演後、近北連合会長萬谷健二先生が、ご挨拶ならびに講師

の先生へのお礼の言葉を述べられました。

続いて、第2部の講演会は「よりよい総義歯をめざして」をテーマに九州歯科大学名誉教授、豊田静夫先生に、ご講演して頂きました。咬合位、人工歯咬合面形態、リベース、金属床義歯、マグネット・アタッチメントと多分野にわたり解説して頂きました。

講演会終了後、ホテル・レストランにて懇親会を開きました。岡谷先生の司会にて、まず大阪府支部長鳥羽英紀先生が挨拶され、乾杯の発声を豊田静夫先生



にして頂き、立食パーティー形式にての会食、懇談となりました。講演された石田先生、豊田先生には、会食の途中、出席者からの質問にもていねいにご説明頂き、幅広い話題で大いに盛り上がり、いつの間にか予定時間が過ぎ、近北連合会副会長松本泰雄先生が閉会の言葉を述べられ、お開きとなりました。

懇親会終了後、大阪府支部役員会を開き、当日の反省ならびに今後の活動予定等について話し合いを行いました。



平成七年

## 社保講習会・新年会

“鳥よし”にて開催

新春の恒例行事である社保講習会ならびに新年会は、平成7年1月22日(日)午後3時より、ナンバ“鳥よし”にて開催されました。午後3時よりの社保講習会には、大阪府歯科医師会常務理事太田利光先生にご講演をお願いし、基本的注意事項の確認から最新の医療情報までわかり易く説明して頂きました。



午後5時より新年会へと移りましたが、今年は、年明け早々より、阪神淡路大震災という未曾有の災害に遭遇した直後とあって、楽しさよりも、各会員の安否を気使うといった雰囲気でした。当日の時点では、負傷者の報告は無かったものの、診療所・自宅に被害の出た先生もおられ、又、兵庫県支部の先生方の状況も全く伝わっていない状態で、出席の先生方には、被害情報等の提供をお願いした次第です。今後の被災された先生方への援助等を再確認してお開きとなりました。当日の出席者は20名でした。



## 大阪府支部学術講演会

於：タカラベルモント本社

2月26日「一般開業医にもできる矯正治療」と題して大阪府支部学術講習会が長堀橋タカラベルモント本社で行われた。講師は明石市で矯正専門で開業されている下間一洋先生。西宮市にお住いの先生は阪神大震災の被災者であられ乍ら、我が支部のために貴重な時間を提供して下さいました。まずその事実に感謝の念を禁じ得ません。

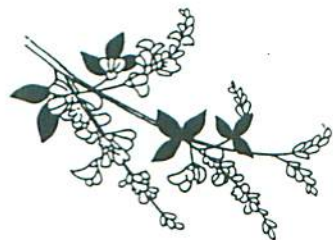
若い先生方の参加が多く25名の参加者からは積極的な質問が飛びかう有意義な講習会だった。昼食を挟んでAM10時～PM4時迄の講習は最近の大阪府支部の講習会としては、やや異例で、「矯正のイロハを勉強したい」という若手の先生方の熱意とそれを真摯に受け入れて下さった下間先生の度量の大きさを示すに十分であった。卒後数年の若手の先生方が一言も聞き逃すまい、と言わんばかりに目を輝せ、メモを取る姿は、後ろから助手

に殴られまいかと気にして無理に瞼を開けていたであろう学生時代の聴講態度とは天と地ほどの差である。講義は「診断に必要な重要基礎知識」として10項目を掲げ、これを詳細に説明して頂いた。紙面の都合でポイントのみ述べると、開業医にも出来る矯正に必要なことは、アンクルI級、又はauto to autoのII、III級迄である。床矯正装置はとても有効であり、大いに利用すること、特にbiteの深い前歯のみの反対咬合は「おいしい症例である。Chincap & Head gear, lip bumperは大袈裟には見えるが、簡単に効果が得やすい。などで、少し細かいが、覚えておくべきは  $\frac{16}{10}$  の遠心移動は  $\frac{16}{10}$  の萌出以前であればかなり動くが  $\frac{16}{10}$  萌出後は最大3・5mmということ、これも覚えるべきは、上下6番の咬頭間距離が5・5mm以上(これをEnnio class II又はclass IIIという)あるケ-

ス、これは専門医でも難しく我々には禁忌症であり、Biseの浅い症例も出来れば手を出さず、専門医に紹介した方が良いという事。又、矯正にセファロ分析は付き物だが、最初はANB角とコZV角に注目し、処置可能か難症例かを見極めることが肝心であるとの説明もあった。

4時迄の予定の講義は4時30分にまで及んだが我々一般開業医にも「これなら出来る」という気持ちを抱かせて下さった下間先生には心より敬服しました。又、この講演会のために京都支部の森亮輔先生(大31期)に多大な御苦勞を頂きまして、この場をお借りして御礼申し上げます。森先生、ありがとうございました。

〈文責 大34期 楠原〉



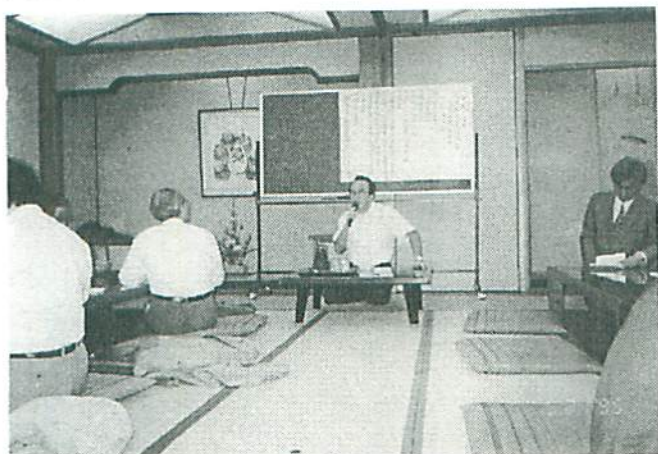
## 平成七年度

# 支部定時総会 開催

- ・ 鳥羽支部長、全会一致で再選
- ・ 同窓会会費、値上げ決定

平成7年度大阪府支部定時総会は、平成7年5月21日(日)午後4時よりナンバ「鳥よし」にて開催され、22名の先生方が出席されました。

総会は、岡谷親男先生の司会にて開会、まず支部長鳥羽英紀先生が挨拶され、続いて平成6



年度内に於ける物故会員、酒井忠臣先生(県1卒)に黙禱が捧げられました。

次に、平山稔先生を議長に選出し、会務報告が戸倉良樹先生より、評議員会報告が松本泰雄先生より行なわれ、松本先生からは、近北連合会等の反対も及ばず、同窓会本部会費の今年度よりの値上げが決定されたことも報告されました。

続いて議題に入り、会計西本達哉先生より平成6年度決算報告、監事村中義金先生より監査報告が行なわれそれぞれ承認されました。又、平成7年度事業計画案・予算案も承認され、又、支部会費の値上げも承認されました。

最後に、平成7、8年度役員に関する議案に入り、次期支部長に鳥羽先生の再選を全会一致



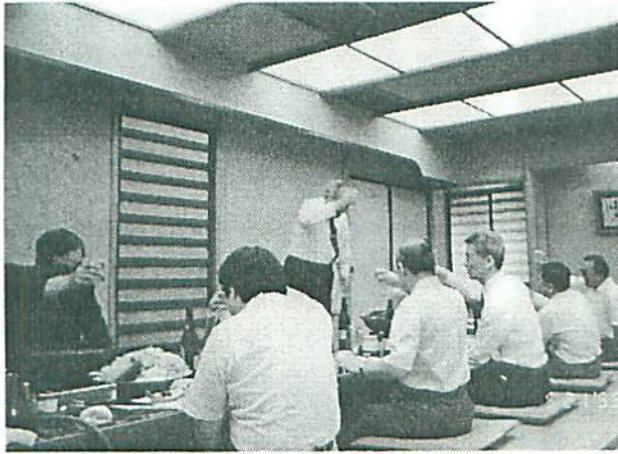
で決定致しました。役員については、鳥羽新支部長に一任という事になり、旧役員全員の留任に加え、浅香信先生(大35)に新たに庶務理事に着任して頂くこととなりました。

以上の審議を経て、総会は、山本克彦先生の閉会の言葉にて無事終了致しました。

午後5時30分より懇親会が開かれ、各出席者の近況報告ならびに震災後の被害状況・復旧状況等の報告も行なわれ、予定時間が過ぎお開きとなりました。

※平成7・8年度役員は次の通りです。

(敬称略)



支部長	鳥羽英紀	大15
副支部長	戸倉良樹	大19
〃	山本克彦	大19
理事(専務)	北村幹夫	大23
理事(会計)	西本達哉	大28
理事(学術)	村尾平三郎	大22
理事(〃)	楠原光珍	大34



理事(社保)	宮尾俊広	大22
理事(涉外)	松本元洙	大24
理事(〃)	山本広邦	大27
理事(福祉)	岡谷親男	大27
理事(〃)	青木修一	大29
理事(〃)	大形篤広	大33
理事(広報)	豊田裕章	大29
理事(〃)	黒沢治彦	大30
理事(〃)	黒田和孝	大32
理事(庶務)		



理事(上)	上崎秀美	大29
理事(〃)	〃	
理事(〃)	長崎三男	大29
理事(〃)	浅香信	大35
監事	中村義金	専19
〃	堀之内藤彦	専5
相談役	平山稔	専17
〃	崎田道臣	県3
〃	古庄列	大7
〃	松本泰雄	大9
〃	丸山輝幹	大14
〃	池山徹	大14
〃	小野善弘	大20

### 定時総会報告

(補足事項)

(1)、会員状況について  
 会費の支払い状況を基準とした平成6年度の支部会員数は、  
 ①会費免除 10名 ②一般 72名 ③勤務 4名 ④大阪府支部のみ 5名 の合計91名です。  
 しかし最近では勤務の若い先生方の変動が激しくその動向を把握するのが困難な状況が続いています。先生方で、支部に未入会の同窓の先生をご存知の方は、支部役員に是非ともご一報下さる様、ご協力をお願いする次第です。

(2)、同窓会費(本部会費、支部会費)値上げについて  
 以前より問題とされていた同窓会本部会費値上げの件については、近北連合会松本泰雄副会長も、反対の立場で努力されてきました。が、ついに今年度より八千四百円の値上げが決定されました。同窓会本部の基金ならびに活動資金が、年度ごとの赤字で底をつき、非常に危機的状況にあるとの本部の主張に対しては、過剰なる一部経費の削減や、活動内容の見直し等を近北として反論してきたのですが、

# 阪神大震災義援金について

多数決には勝てなかった訳です。同窓会本部としても今後の方針として、①大学と同窓会の共同研究の推進 ②地区連合会開催への助成金提供 ③同窓会組織強化、コンピュータ導入 ④同窓会基金減少の歯止め ⑤学閥が強まる傾向の中、九歯大同窓会団結の強化 といった項目を上げ、活動を高めて行くとの事です。先生方の御理解・ご協力をお願い致します。

支部会費に関しても、ここ数年・広報・福祉活動の自粛等にて経費増大を抑えて参りましたが、やはり、今後は他大学同窓会支部に負けない活動を続けて行くため、諸活動、特に広報と新入会員の確保等を中心として団結を強めなければなりません。ここに千六百元会費を値上げし、諸活動の資金の一部に運用して行きたく考える次第です。本部会費と合わせて一万円の出費増は、大変心苦しいですが、何卒、御協力の程よろしくお願い致します。なお、会費の件につきましても質問・意見等がございましたら、支部長もしくは支部役員までお寄せ下さい。

阪神大震災から半年以上が過ぎましたが、まだまだ復興に向けていろんな問題が未解決の様です。さて、義援金の募集に際しましては、多数の先生方よりご協力を頂き(56名・74万円)誠に有難うございました。被害を受けられた14名の先生方には、被害状況に基づき義援金をおくらせて頂きました。

これ以外にも、同窓会本部より14万円、同窓会本部に集まった義援金八百二十二万四千九百四十円から百万円が大阪府支部に送られて来ましたので、14名の先生方に遅らせて頂きました。又、大阪府支部より兵庫県支部に対して10万円の見舞金を送りました事も併せてご報告させて頂きます。

※被害を受けられた先生方は次の通りです。

- 。自宅被害 平山 稔
  - 榊島 健
- (敬称略)

## 。医院被害

- 丸山 輝幹
- 岡 幸宏
- 須田 宣之
- 阪上 安輝
- 宮尾 俊広
- 高橋 敬治
- 岡谷 親男
- 倉田 博幸
- 長崎林太郎
- 平山 稔
- 真鍋 貞夫
- 須田 宣之
- 宮尾 俊広
- 倉田 博幸
- 上崎 秀美
- 長崎林太郎

被害を受けられた先生方には、心よりお見舞申し上げる次第です。



## 卦報

専門11回卒、池田康雄先生が、5月22日にお亡くなりになりました。ここに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

◎長年の課題でありました支部だより、やっと発行にこぎつけることができました。これから最低年2回は発行して行きたいと思っています。まだまだ力量不足ですので先生方のご助言ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎次号よりは、先生方へアンケートや原稿依頼をお願いする予定ですので、その際には、是非ともご協力を重ねてお願いする次第です。又、何かよい企画のアイデアがありましたら、編集委員会までご一報下さい。

(編集委員会代表 豊田裕章)

